



アデコ 2013 年第 1 四半期の売上は安定的に

- 減収にも関わらず、抵抗力のある粗利率とコスト管理により、第 1 四半期は安定した結果に -

[2013 年 5 月 7 日 スイス、チューリッヒ]

第 1 四半期ハイライト(前年度比)

- 売上高 M&A や為替変動の影響を除き 5%減 (営業日数の違いを調整後)
- 粗利率 20bps 減の 18.0%(M&A や為替変動の影響を除き 10bps 減)
- 販売管理費 3%減(M&A や為替変動の影響、事業再編費用および事業統合費用を除く)
- 2013 年度の事業再編費用に 1100 万ユーロを支出。内 600 万ユーロがフランス関連
- EBITA 利益 1 億 3800 万ユーロ(事業再編費用を除く)
- EBITA 利益率 事業再編費用および事業統合費用を除き、前年同期比で 80bps 減の 3.0%
- 純利益 6700 万ユーロ
- 自社株 750 万株を 2 億 9900 万ユーロで買戻し

2013 年第 1 四半期の主な数値

単位: 100 万ユーロ	報告数値	報告数値 成長率	為替変動の影響を 除いた成長率
売上高	4,556	-10%	-8%
売上総利益	821	-10%	-9%
EBITA(事業再編費用を除く、 金利支払い、税引き、営業権償 却前利益)	138	-29%	-27%
EBITA(金利支払い、税引き、 営業権償却前利益)	127	-30%	-29%
営業利益	116	-31%	-29%
当期純利益	67	-40%	-

人材サービスのグローバルリーダーであるアデコグループ(本社:スイス)は本日、2013 年度第 1 四半期の決算発表を行いました。売上高は M&A や為替変動の影響を除き 7%減、または M&A や為替変動の影響を除く、営業日数の違いを調整すると 5%減の 46 億ユーロとなりました。粗利率は前年同期比で 20bps 減、M&A や為替変動の影響を除き 10%減の 18.0%となりました。販売管理費は、コスト管理の継続により、M&A と為替変動の影響と、事業再編費用と事業統合費用を除き 3%減となりました。2013 年第 1 四半期の事業再編費用を除く EBITA 利益率は、前年同期比で 80bps 減の 3%となり、純利益は 6700 万ユーロとなりました。

以下は CEO、パトリック・デ・メスネールのコメントです。

「ヨーロッパの経済状況が厳しい状況を考慮しても、第 1 四半期は堅実な結果となりました。フランスで市場との成長率の差が縮小したこともあり、ヨーロッパでは底打ちの兆しを見せています。北米では、一般および専門性に特化した人材サービスにより、堅調な状態が続いています。全般的には、プライシングの管理と多様なビジネスラインにより、取引日数が少ない中においても抵抗力のある粗利率を見せました。売上の減少に合わせ、コスト管理を行ったことにより、前年同期比で、販売管理費の削減に繋がり、利益率は底堅いものでした。3 月は M&A と為替変動を除き、取引日数調整後の売上高は 4%減となり、4 月も同様の傾向が見られました。私たちは 6 つの事業戦略に集中することで、EBITA 利益率の 5.5%以上を達成する目標を立てています。最近の傾向および、2013 年末に向けて経済状況の好転が見込めることから、2015 年にはこの目標を達成できることを確信しています。」



第1四半期の日本の状況

2012年に数件のアウトソーシング案件が終了した影響により、為替変動の影響を除く売上高は21%減、為替変動の影響と取引日数の調整後では15%減の2億9200万ユーロとなりました。前年同期比のEBITAは1300万ユーロ、EBITA利益率は130bps減の4.5%となりました。